

第1章 いしかわ学校版環境ISOの趣旨と構成

1 趣 旨

「いしかわ学校版環境ISO」は、学校で容易かつ効果的に環境保全活動を進めていくための指針であり、環境省が策定した「環境活動評価プログラム」を基本とし、学校で取り組み易いように独自性を加えて再編集したものです。

なぜ、学校で環境保全活動を行うのか？

地球的規模の環境問題に対処するための合言葉として「Think globally , act locally」(地球規模で考え、地域レベルで行動する)といった言葉がよく使われます。日々の生活において、身近なところから積極的に環境保全活動を実践していくことが重要です。

地域社会と密着した学校で環境保全活動を実践することは、校内の省エネルギー、省資源といった環境に対する直接的な影響もさることながら、児童・生徒が環境に関心をもつことにより、家庭や地域へも広がりを見せるといった間接的な影響もあり、その教育効果・波及効果はかなり大きいと考えられます。

学校での活動を通じ、環境保全活動の輪がさらなる広がりを見せていくことが期待されます。

環境活動評価プログラムとは？

規模や業種を問わず幅広い事業者に対し、自主的に「環境との関わりに気づき、目標を持ち、行動する」ことができる環境マネジメントの簡易な方法を提供するもので、環境省が平成8年に策定(平成11年改訂)したものです。このプログラムに参加することにより、簡易な方法により環境保全への取組が展開でき、かつ取組目標と取組内容及びその結果を「環境行動計画」として取りまとめて、公表できるように工夫されています。

環境活動評価プログラムは環境パフォーマンス(環境保全への取組(環境マネジメント)を行った結果)を測定し、評価するための手法として国際規格に制定されている「ISO14031」と基本的な整合性が確保されています。

ISOとは？

ISOとは、国際標準化機構(International Organization for Standardization)の略称で、世界共通の規格・基準を制定している民間の組織のことです。ISOの定める規格の中で、身近なものとして、非常口のマークがあります(下図参照)。デザインは全世界共通です。

ISOとは、世界共通の決まりごとともいえます。

非常口マーク



2 構成

本指針の構成と各項目の概要は次のとおりです。学校における環境への負荷の簡易な把握方法や、環境保全のために学校で取り組むことができる具体的な活動内容を示し、自己チェックの結果をもととした計画づくりと取組の推進が容易にできるようになっています。

【 いしかわ学校版環境ISO 実施フロー図 】

